

まちづくりワークショップの開催結果について

【結果概要】

1. 開催日時・場所

第1回 令和5年6月28日(水) 18時30分～20時30分

彦成地区文化センター 2F 大会議室1

参加者 6名 (A班3名、B班3名)

オブザーバー 1名

第2回 令和5年7月1日(土) 9時30分～11時30分

彦成地区文化センター 2F 大会議室1

参加者 9名 (C班5名、D班4名)

オブザーバー 3名

2. 主なご意見の要旨

(A班)

- ・二郷半用水緑道の景観がよい。
- ・バスの便数が少ないため増やしてほしい。
- ・少子高齢化により空き家が増加する可能性が高い。
- ・新旧の住民の交流が少ない。災害時に助け合える地域コミュニティがあるとよい。
- ・水災害に備えて、高い建物に避難ができるとよい。
- ・道が狭いため、移動販売車が来てくれると便利。
- ・SNSなどを活用し、市と住民、お店などが交流、情報発信を行えるとよい。
- ・高齢化や子育て世代への対応として、段差解消など、バリアフリー化を進めてほしい。

(B班)

- ・古くからのコミュニティがある。
- ・旧道より内側は静かで住みやすい。
- ・市道が狭い。県道は高速道路状態で危険だし、うるさい。
- ・日用品が買えるお店が欲しい。
- ・自動車を使わずに食事やお酒が飲めるお店が欲しい。

(C班)

- ・中川の沿道は交通量が多く、騒音や振動がひどい。
- ・昔は店舗があったが、現在は無いため不便。
- ・道路に歩行者、自転車、自動車の区分が無いため危険。
- ・高齢化が進行しており、空き家が増えている。
- ・吉川市は中川沿道を第一種住居地域にしているのに三郷市が第一種低層住居専用地域なのはおかしい。

(D班)

- ・第一種低層住居専用地域により大きな建物やお店が建てられないことが問題点。
- ・駅から距離があるにも関わらず、バスの便数が少ない。
- ・道が狭いため、建築の際に道路後退距離を十分にとらせる必要がある。
- ・アンケートについて、若い世代の意見が少ない。
- ・まちづくりの有識者会議を開催して話し合うことが有効である。

3. 発表内容

(A班)

今回、私たちはまず地域の良いところを書き出してみました。

住んでいる人の顔が分かって安心できるところがいいなとか、二郷半用水緑道の花がいっぱいあって景観がいいなとか、静かなところがいいな、緑が多くていいな、移動販売車が週に2回来てとても便利だという話がありました。

その反対に、課題となるところも見えてきました。バスの便数が少なく、始発の時間も7時台と遅いので、路線を増やして欲しいこと、一人暮らしの高齢者が多くて、病気で入院した場合など、空き家になってしまう。このようなことがこれから増えていくのではないかと。空き家が増えることによって管理が行き届かず、問題が増えてくる。そのほか、買い物や病院に行くための交通手段が悪く、お子さんやお孫さんに買い物を頼んでいるといった現状もあります。また、免許証を返納した方について、今お話をさせていただいたところと重なってきますが、病院や買い物へ行くのに困ること。あとは、古くから住んでいらっしゃる方と新しく引っ越してきた方との交流が難しくなっているという問題もあります。

今後について、一番多く話題に上がったのは、最近の豪雨のときに、中川の水位が危険水位となり、とても不安だったということです。災害時は、困ったときに助け合いができる地域コミュニティがあるといいなと思います。災害に強いまちづくりにしてほしい。災害時に避難できる高い建物を建てられるといいなと思います。

もちろんこの地域は、第一種低層住居専用地域が多く、中川沿いにあるということもあり、都市計画マスタープランでは、10年間の目標を立てて、この地域をどのようにしていこうかという話を考えているということなので、突然明日からここの地域はもうビルを建てていいよとか、明日から商業スペースになるので、建物を全部建替えますといったことは現実的に難しいことは分かります。10年かかっても難しいし、今までお住まいの方が多くいらっしゃる地域もあるので、地権者のことを考えると、その建物を一切合切に綺麗さっぱり新しくリニューアルすることも現実的に難しいです。

実際、今お住まいでいらっしゃる方が将来住みやすくなるために、あとは子育て世代やこれから三郷市に住んでみたいと考えている方のことも考え、さらに体調に不安がある方や子育て世代に向けたサービスも必要なのかなと思います。先ほどの大雨などの自然災害時に、助けが必要な方を把握できるということは、相手の個人情報を知っているということなので、個人情報の取り扱いにも十分気を付けながら、助け合いができるような雰囲気ので地域であってほしいと思います。

バスの便数が少ないことのほか、道が狭く、大型バスが運行できないなどの課題への対応として、移動できるお店が来てくれると嬉しいなと思います。あとはSNSを活用すれ

ばこれからやってみたいという方が増えるかもしれません。若い方など、SNSを活用されている方をもっと増やして、三郷市と住民、地区ごとのサービスや、割引情報などのお得情報の配信、病院の空き具合、自然災害や近隣情報について、もうちょっとダイレクトに分かると、情報をしっかり掴んで安全に住むことができると思います。

バリアフリー化ですが、これは私が昔怪我をしたときに、困ったことがありました。段差が少しあっても、歩きづらかったり、車椅子が動きづらかったり、松葉杖がつきづらかったり、怪我をして初めて分かる、とても苦勞した経験がありました。この10年間で、少しずつでも道が整備されて、身体で困っている方や育児中の方もベビーカーが押しやすくなったりするような、ちょっとした工夫で、住んでいる人がすごく安心して住みやすいと感じると思います。何かのヒントになればと思いました。

地区外の話ですが、昔インター西部地区と言われたところが、残土置き場・資材置き場となっており、ここの景観が酷いです。ここも何か考えた方がいいのではないかという意見がありました。以上です。

(B班)

A班と重なっている部分が多いですが、単刀直入にいきたいと思います。

まず、地元の上口、番匠免、彦沢ということで話をさせていただきますと、良いところというのは、住民のコミュニケーションが取れている、まとまりがある地区であるということです。旧道と呼ばれている、昔の中川の沿道ですが、この旧道から東側に関しては、本当に静かで、日当たりも良く住みやすいです。

問題のあるところとしては、道路が本当に狭いです。まちづくりは道路からと言いますが、今更、広くしろと言っても、この辺はできないかなと思います。一方、県道は夜中になると、高速道路状態です。本当に危なくて、とてもうるさいです。お客さんが家に来て、寝たりすると、「うるさかったね、いつもこんなところで寝ているの」と言われてしまいます。トレーラーなどが通ると、地震かと思うほどです。あと、やっぱり歩道が欲しいです。

住みやすくしていくためには、日々の生活用品が買えるようなお店が欲しい。もし第二種低層住居専用地域に用途地域を変更するとすると、それなりの広さまでの店しかできないので、お店に行っても欲しいものがない、結局足りないものはヨーカドーに行かなくちゃならないということになります。そうすると初めからヨーカドーに行った方がいいのではないかという話になる。お店をしていくことは大変なのかなと思います。

今後より一層地域のコミュニティを発展させていくために、仕事の会議やちょっとした会合の後に、みんなで寄るところもないです。外食しようと思っても、結局はヨーカドーに行ったり、草加流山線の方まで行ったりして、自動車がないと店に行けず、運転手が飲めないといった形になります。この地域でそういう店ができるような、都市計画、まちづくりをしていただければ、本当にいいのかなと思います。また、県道と旧道の間を一体的

に考えていかないと、課題をクリアすることはないと思います。

(C班)

2年前に、当時の副市長やまちづくり推進部長、都市デザイン課長と車に乗って、現地調査として地域を回りました。副市長からは、何かしないといけないとおっしゃっていたので、これからこの地域も、少しずつではあるけれど、変わっていくような気がしていました。未だにこの状態なので、反対者がいて難しいのかなと思います。

地域の良い点は、県道から1本中に入った、元々の地盤の良いところは静かです。

一方、県道沿いは、1日に2、30台トレーラーが通ります。夜寝ているとキーって音がして事故かと思って飛び起きると、トレーラーやダンプが止まったりする音です。地盤が悪いですから、止まるときにガラガラと地震のように揺れる。これが県道沿いの現状です。

この県道沿いは、あまり良いところが少ないかなと。その理由は、県道沿いは第一種低層住居専用地域で何もできない、もう住むだけです。昔は彦成1丁目でも店舗が5店舗あり、2丁目と合わせると10店舗近くありました。今は店舗がなくて住みにくいです。

三郷駅前のところは、車専用の道路があって、自転車専用の道路があって、人が歩く道路があって、ちゃんと3つある。彦成1丁目は、車も自転車も人もすべて一緒。中には、これから未来を背負って立つ幼稚園生や小学生もいます。いつ死ぬかわかりません。そういう地域なのです。どうしたらいいでしょう。高齢の母親にどこにも行くなよとも言いますが、ずっと家にいるわけにはいきません。切実な問題です。

これからどんどん高齢化していきます。若い人はいません。空き家問題もあります。ここは第一種低層住居専用地域ですが、すぐ近くはもう吉川市で、吉川市は第一種住居地域で、ある程度建物が建ちます。三郷に来ると、何も建たない。おかしいと思います。また、吉川市の方はけやき通りと言って、駅までまっすぐ通って、歩道も両側にあります。けやきもあって、すごく環境がいいです。一步入ると彦糸です。この間、そこで事故があり、車がひっくり返っていました。またいつ同じような事故が起きるかわかりません。彦糸と吉川の境界は、もう危険極まるといったところです。そういった現状です。

今後についてですが、用途地域に則したまちづくりをするのか、それが大変ならば、用途地域を変える。これはほとんどの人が賛成してくれています。現状に則したまちづくりをしてもらいたいです。

これから私の孫、子供の未来に向けて、ありたい姿ってあると思います。三郷団地を見てください。私が若い頃は、2万6000人住んでいました。今、1万人少ない1万6000人。もう空き家だらけです。聞くところによると、訪問したら住民が死んでいたなんて話もある。そういう次元です。私の若い頃は、南商店街、北商店街、中央商店街、西商店街、土日になると人の山でした。今、三郷団地は高齢者しかいません。あと10年、2

0年したら、彦成1丁目、2丁目も同じ状況になるかもしれません。

(D班)

私どものグループで話をした内容は、先ほどのお話と被りますが、用途地域が第一種低層住居専用地域であることによって、大きな建物が建たない。そこが問題点であると思います。もう一つは、駅から距離があるにもかかわらず、交通の利便性が特に悪い。昔はバスが5分に1本あったところが、もう2時間で1本しかない。そういった地域であると、まちは発展しないのではないかということです。さらにもう一つは、用途地域の関係ですが、お店が少ないことです。道路も狭いところがあるところであって、そういったところも問題点だと思います。

今回アンケートを取っていただいた中で、ほとんどが年齢層の高い方の意見で、若い人の意見が入っていないのではないかと、そういったところも問題点だと思います。

解決策として具体的にあったのは、この地域で用途地域の変更をすることが必要であることが一点と、旧道など狭い道路では、建築確認をとるときに、制限をさせることによって、長期で見たときには、広くなっていくのではないかという意見がありました。

今回ワークショップを開催していただきましたが、これをより一歩進めるためには、有識者会議を開催することが必要ではないかと思います。ぜひこの話し合いが、この場で終わってしまうことのないようにしていただければと思います。それでは終わりにします。